

Japan creation space monova (モノヴァ)は、モノづくりの情報発信をするショールームです。  
日本各地のモノづくり企業、ギャラリースペースでライフスタイル提案型の企画展を開催しております。



## 新商品のご紹介 折れる布の鶴

進弘産業株式会社 (愛知県)

滑らかな光沢と、ピンと張りのある生地で作った鶴。  
紙と同じように、線に沿って誰でも簡単に鶴を折ることができます。



1969年創業の進弘産業株式会社(愛知県)は、オーダーカーテン  
やローマンシェードの縫製加工を行う日本のメーカーです。  
長年培った布の特殊加工技術を結集し、更なる開発として、  
「針と糸を使用しない」をコンセプトに新たな自社製品「Chop!!」を  
展開しています。

monovaショールームでは、「Chop!!」シリーズの中から  
折れる布の鶴をご覧いただけます。

## 展示会 & イベント案内

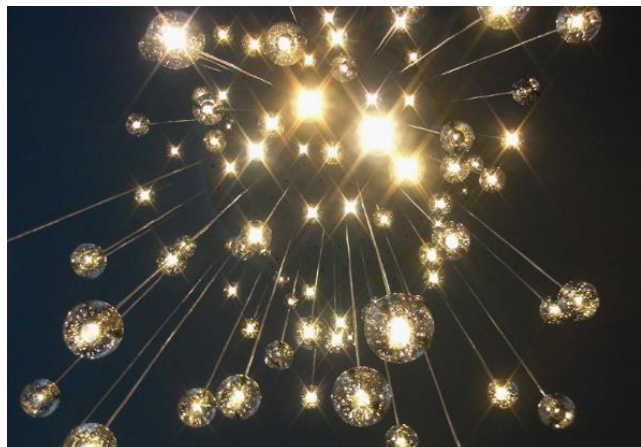
<現在開催中の展示会>津軽の伝統工芸と燈展



5月23日(木)~6月18日(火)

### 京都発・エモーショナルな照明展

京都発祥の照明デバイスブランドRayson  
伝統とテクノロジーを統合したエモーショナルな照明を紹介します



6月20日(木)~7月2日(木)

### 洗えるシルク ~進化する秩父太織~ 展

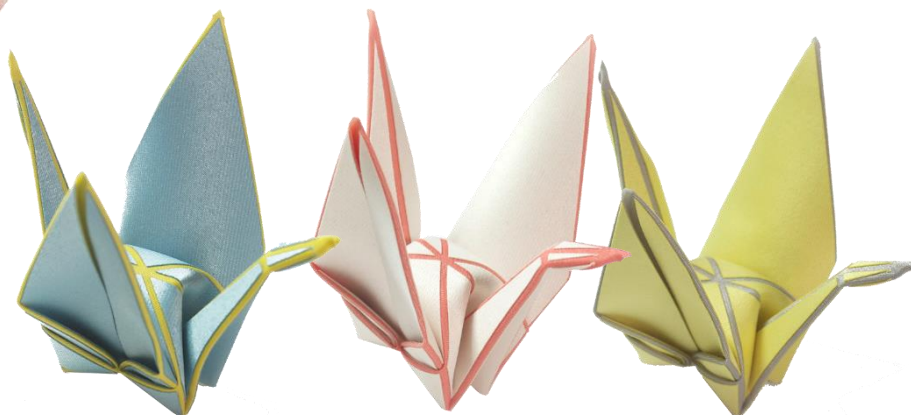
100%秩父産の繭を使い、糸から織りまで手作りで仕上げた  
極上のシルクの生地。  
日常生活で使える、秩父の新しいテキスタイルを紹介します。



# Chop!!

～everyday surprise～

カラテチョップを食らうような、衝撃と驚き。  
斬新なアイデアと、特殊な縫製技術で生まれた布製の鶴。  
誰でも簡単に鶴を折ることができるので、海外の方への  
プレゼントにもおすすめです。  
手掛けているのは、半世紀に渡りオーダーカーテン等の  
縫製を行ってきた進弘産業株式会社です。



折れる布の鶴

【価格】・・・1,200円(税別) 【サイズ】・・・W17cm\*H17cm

【素材】・・・表生地、裏生地 ポリエステル100%

## Chop!!とは…

「針と糸を使用しない」をコンセプトに、0.1mmを表現できるレーザー  
カット技術と、特殊なホットメルトシートの熱溶着技術により、生地を貼  
り合わせたファブリック素材のブランドです。

「折れる布の鶴」をはじめ、代表作であるプレスレット、名刺入れ(カード  
ケース)、カーテンタッセル、ランプシェード、コースターなどラインナップ  
を展開しています。手洗いもできるので衛生的にも安心です。

OEMでキャラクターとコラボレーションしたり、オリジナルデザインの商  
品も小ロットから製作することも可能です。

## 【進弘産業株式会社】

1969年創業愛知県一宮市にて創業した進弘産業株式会社は、オーダーカーテンの縫製加工、ロールスクリーン・バーチカルブラインド類の製造を  
主な事業とし、他社には真似できない特殊な技術と、50年続く伝統の技術でインテリア関連製品を創り出しています。オーダーカーテン専用工場  
を母体とし、レーザーカット・熱圧着加工・超音波加工など、様々な生地の加工を手掛けています。

<http://sinkosewing-co.jp.check-xserver.jp/>

<お問合せ> Japan creation space monova 担当：藤本  
tel : 03-6279-0688 mail : [info@monova-web.jp](mailto:info@monova-web.jp) WEB : <http://www.monova-web.jp>

monovaでは各メーカーとの直接のお取り引きをサポートしています。  
ご関心のあるバイヤー・プレス様に出展メーカーをご紹介しますので、気軽にお声掛け下さい。

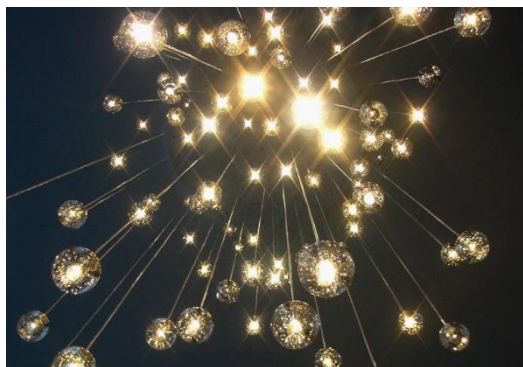
レイゾン株式会社 主催

## 「京都発・エモーショナルな照明展」を開催！

2019年5月23日（木）～2019年6月18日（火）

京都発祥の照明デバイスブランドRayson  
伝統とテクノロジーを統合したエモーショナルな照明を紹介します

Rayson



FEM



FRAME



MATRIX

伝統×テクノロジー  
情感を感じる最先端の照明器具

日常生活に欠かせない照明機器。ただ部屋を照らすのではなく、照明から情感を感じられるような価値のある光を追求する京都の新しい照明デバイスブランド「Rayson」。半世紀にわたり、照明器具の開発・製造に取り組んできた照明機器メーカーの新たな事業として独立したレイゾン株式会社は、最先端の電子制御技術を基盤に、伝統工芸やアートの視点を取り入れ、人々の心を動かす価値ある光を生み出しています。本展では、照明機器メーカーとして歩んできたこれまでの取り組みを紹介するとともに、京都の美学を感じる照明を紹介します。

## 【展示内容】

## FEM

手作り風の泡入ガラスで包まれた、シーンに合わせて調光できるLED照明です。専用のアプリを使ってスマートフォンやタブレットで好みの調光がお楽しみいただけます。

## FRAME

和紙のやわらかな光と、シャープな鋼線からなるシンプルなデザインは和室はもちろん洋室にも馴染みます。全国から選りすぐりの3種の和紙をセレクトしています。

## MATRIX

伝統的な木工細工のフレームに、フルカラーLEDライト368個を埋め込み、和紙のスクリーンで仕上げています。デジタル撮影した動画を独自のシステムで変換し、独創的な光のアートとしてスクリーンに映し出します。世界からも高い評価を受け、MoMAニューヨーク近代美術館でも発売されました。

レイゾン株式会社URL・・・ <http://www.rayson.kyoto/>

## —開催概要— 京都発・エモーショナルな照明展

会 期：2019年5月23日（木）～2019年6月18日（火）

10:30 - 19:00 / 最終日は15:00迄 水曜定休、5/21(火)は臨時休館  
入場無料

会 場：monova gallery

場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：レイゾン株式会社

Handweaver Magnetic Pole 主催

## 「洗えるシルク～進化する秩父太織～展」を開催！

2019年6月20日（木）～2019年7月2日（火）

100%秩父産の繭を使い、糸から織りまで手作りで仕上げた極上のシルク布。  
日常生活で使える、秩父の新しいテキスタイルを紹介します。Magnetic Pole  
Handweaver

オリジナルのワッフル生地



北村久美子氏／繭から糸を引く工程



南麻耶氏／製織

秩父太織の伝統を現代に活かす  
100%地元産繭の洗える手織り布

Magnetic Pole(マグネティックポール)は、埼玉県秩父市で糸作りから布にするまでを手仕事で一貫生産している工房です。

現在、国内で生産されているシルク製品のうち、国産繭を使用しているものはわずか0.3%とされていますが、Magnetic Poleは100%秩父産の繭を使い、秩父の織物の歴史を現代に活かした布づくりに励んでいます。撚りのない無撚糸を、オリジナルのワッフル模様で手織りされた生地の手触りの良さはもちろんのこと、吸水性と強度に優れ、100%シルクでありながら洗濯することも可能です。使い込むほどに光沢を増し、なめらかな手触りへと育ちます。

この展示会ではMagnetic Poleで制作している絹布(秩父太織やKAIKO、WAFFLEシリーズ)のほか、初の自社製品でありながら『ambiente2019』のTRENDに選ばれたskin care clothなどを大切な人へ贈るギフトとして提案いたします。

## 秩父太織とは？

古くから養蚕が盛んな埼玉県の秩父に江戸時代から伝わる伝統織物。養蚕農家が出荷できない繭(くず繭・玉繭など)を野良着にして織っていたことが起源です。

秩父太織の製法は一時途絶え、幻の織物ともいわれていましたが、戦後、Magnetic Pole代表 北村久美子氏の師匠・故 石塚賢一氏が復興しました。

## 【展示内容】

## CHICHIBU SILK SKIN CARE CLOTH 桐箱入り

蛇口から出る40℃～45℃のお湯で濡らし軽く絞る顔にのせ毛穴を広げてそのまま気になるところを優しくこすると、今話題のスチームケアクロスとしてお使いいただけます。

## CHICHIBU SILK Race Shawl 桐箱入り

贈って嬉しいもらって嬉しいをテーマに 手染め工房『きぬのいえ』とのコラボ企画 後染めサービスを付けたスペシャルギフトを提案いたします。

## 【Handweaver Magnetic Pole 概要】

埼玉県秩父市に2015年創業。石塚工房にて織物を学び、伝統工芸士の資格を所有する代表の北村久美子氏と、秩父とスウェーデンで織物を学んだ南麻耶氏、家業の養蚕農家を継いだ久米悠平氏の若き3名の担い手たちが、地元産の繭を利用し、伝統的な手わざで秩父太織制作に励んでいる。2017年から「洗える絹布」として機能美を追求した布や製品を海外に向け発表している。<http://magneticpole.jp/>

## －開催概要－ 洗えるシルク～進化する秩父太織～展

会 期：2019年6月20日(木)～2019年7月2日(火)

10:30 - 19:00 /最終日は15:00迄 水曜定休

入場無料

会 場：monova gallery

場 所：東京都新宿区西新宿3-7-1

リビングデザインセンターOZONE 4階

主 催：Handweaver Magnetic Pole